

今週（2月10日から2月14日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週の無担保コールO/N物は、複数の先から付利金利を上回る水準で試し取りが行われたものの、それ以外の取引では、これまでと同様に国内勢の調達を中心に0.477%近辺で多くの出会いが見られた。

無担保コールO/N物の加重平均レートは、10日(月)は0.477%、12日(水)は試し取りの影響により0.485%まで上昇、13日(木)は再び0.477%に低下、14日(金)は週末3日積みとなった事により試し取りなどは無く、レート水準は前日から概ね横這い圏での推移となった。

ターム物は、1W～1M物で0.55～0.58%近辺での出会い、3月末を跨ぐ2M以上の物では、0.60%前後で出会いが散見された。

今週の日銀当座預金残高は517兆円台からスタートし、10日(月)の国債買入オペや13日(木)の財政資金の払いを受け、521兆円弱まで増加した。14日(金)には年金定時払いにより一段と増加する展開となった結果、529兆円台前半での着地見込となった。

●レポ市場

今週のO/N GCは、0.250～0.485%近辺での取引となった。10日(月)から12日(水)の前場までは、0.450～0.485%近辺での出会いが中心となったが、12日(水)の後場に入るとオファーが減少し、0.350%程度まで低下した。13日(木)は一段とオファーが出難い状況となり、0.25～0.35%程度での出会いとなったが、14日(金)には短国3M物の発行要因からレートが上昇し、0.350～0.455%で出会いが散見された。

SCは、カレント銘柄近辺や、チーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は3Mゾーンが概ね堅調に推移した。

14日(金)に実施された3M物入札は無難な結果となり、その後のセカンダリーマーケットでも堅調に推移した。

●CP市場

今週のCP発行市場は、建設、卸売、不動産、食料品など複数の業態が大型発行を実施した。

市場残高は、概ね25兆円台半ばでの推移となり、前週対比でやや減少する展開となった。

発行レートについては、0.5%以上で推移しており、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきが見られた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（％）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・％）	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・％)	日銀当座預金残高 （億円）
2/10（月）	38,801.17	1.310	151.90	0.477	0.457	5,194,600
2/11（火）						
2/12（水）	38,963.70	1.340	153.20	0.485	0.449	5,193,900
2/13（水）	39,461.47	1.350	154.36	0.477	0.351	5,208,900
2/14（金）	39,149.43	1.350	152.80	0.477	0.431	5,299,300

来週（2月17日から2月21日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
2/17 (月)	10-12月期のGDP 1次速報(内閣府 8:50) 12月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30)				New York祝日 (Presidents' Day)
2/18 (火)		20Y 10,000億円 2/19発行			
2/19 (水)	高田審議委員(宮城県金融経済懇談会における挨拶) 12月の機械受注統計(内閣府 8:50) 12月の石油等消費動態統計(経済産業省 13:30)	TB1Y 32,000億円 2/20発行	交付税借入 12,500億円 2/28借入		1月の米住宅着工件数 1月の英消費者物価指数
2/20 (木)		流動性供給 6,500億円 2/21発行			
2/21 (金)	1月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 1月の貿易統計(財務省 8:50)	TB3M 45,000億円 2/25発行	交付税借入 12,500億円 3/4借入		1月の米中古住宅販売件数

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
2/17 (月) 日銀予想	400	▲ 26,700	▲ 26,300	被災地 国債補完	▲ 300 7,700		7,400	▲ 18,900	TB3M発行▲45,000償還43,000 5Y発行▲23,000 個人向け発行▲3,200償還700
2/18 (火) 弊社予想	▲ 1,000	2,000	1,000				0	1,000	労働保険料揚げ
2/19 (水) 弊社予想	1,000	▲ 10,000	▲ 9,000	共通担保	▲ 8,000		▲ 8,000	▲ 17,000	20Y発行▲10,000
2/20 (木) 弊社予想	1,000	15,000	16,000				0	16,000	TB1Y発行▲32,000償還35,000 I補給-対策借入▲4,400期日6,500
2/21 (金) 弊社予想	▲ 1,000	▲ 11,500	▲ 12,500				0	▲ 12,500	流動性供給▲6,500
週間合計	400	▲ 31,200	▲ 30,800	—	▲ 600	0	▲ 600	▲ 31,400	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズの強い展開が見込まれる事から、レートは0.477%近辺での出会いが予想される。債券レポGC T/N物は、0.25～0.50%近辺での推移が予想される。短国市場は、19日(水)に1Y物、21日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、五・十日発行を控えており、案件がどの程度膨らむか注目される。

主要なイベントは、国内では17日(月)に10-12月期のGDP 1次速報、19日(水)に高田審議委員による宮城県金融経済懇談会における挨拶、12月の機械受注統計、21日(金)に1月の全国消費者物価指数(CPI)、1月の貿易統計、海外では19日(水)に1月の米住宅着工件数、1月の英消費者物価指数、21日(金)に1月の米中古住宅販売件数などの発表が予定されている。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。